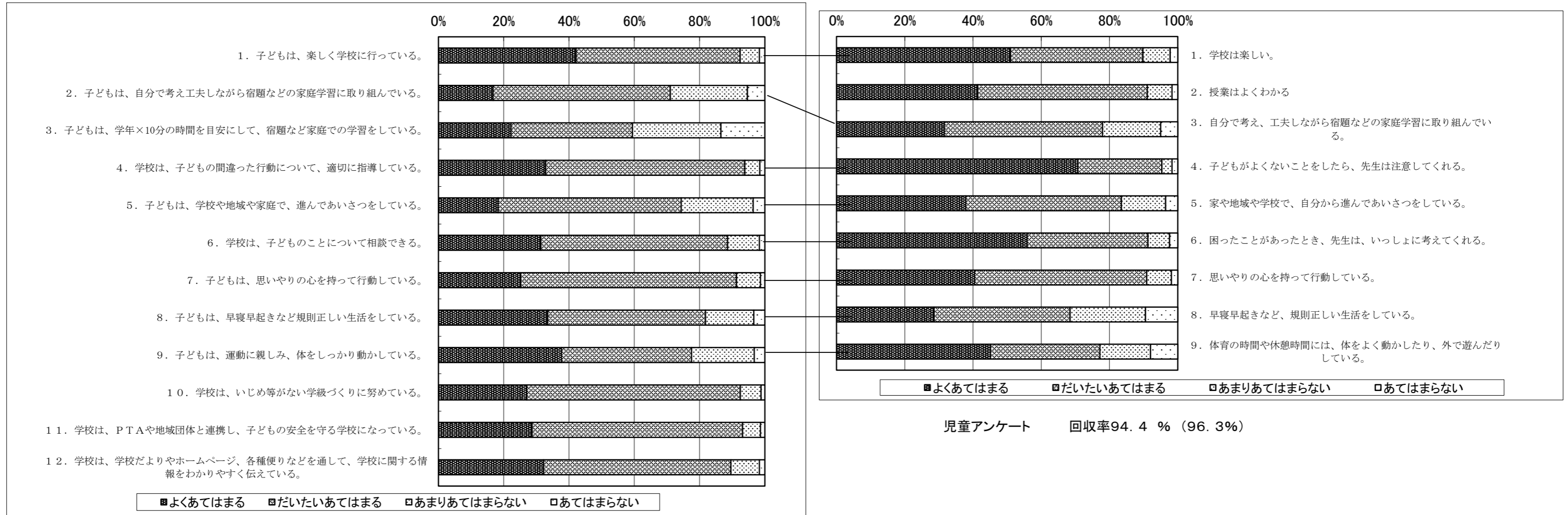


令和4年度 保護者・児童アンケート集計結果

令和4年11月15日～11月21日実施

昨年の11月にはアンケートに協力頂きありがとうございました。アンケートの結果については、児童、保護者ともに「よくあてはまる」「だいたいあてはまる」を肯定的評価、「あまりあてはまらない」「あてはまらない」を否定的評価と捉えて結果についてまとめています。保護者アンケートの項目と対応する児童アンケートの項目には—— を結んでいます。



<結果のまとめ>

保護者アンケート 回収率 65.8%(昨年度86.3%)

本年度のアンケートからパソコンやスマホからの電子回答

- ◆保護者アンケートの項目の中で肯定的評価の割合が多かったのは、「4. 学校は、子どもの間違っただ行動について、適切に指導している。」で93.9%(昨年度89.0%)でした。これに対応する児童アンケート「4. 子どもがよくないことをしたら、先生は注意してくれる。」の肯定的評価の割合も多く、95.4%(昨年度94.8%)となりました。また、次いで多かったのは、「11. 学校は、PTAや地域団体と連携し、子どもの安全を守る学校になっている。」93.2%(昨年度91.4%)でした。
- ◆保護者アンケートの中で肯定的評価が特に低かったのは、「3. 子どもは、学年×10分の時間を目安にして、宿題など家庭での学習をしている。」で59.4%(昨年度63.2%)です。(本年度は、児童アンケートにこれに対応する設問を設定していない。)
- 宿題については、本年度からより主体的に学習に取り組むことができるよう学年の発達段階を考慮しながら、従来の学級統一の内容から、個々の興味関心や課題毎に学ぶ内容を選んだり、変えたりできるよう変えていっています。本年度のアンケートでは、保護者アンケート「2. 子どもは、自分で考え工夫しながら宿題などの家庭学習に取り組んでいる。」は、71.0%、児童アンケート「3. 自分で考え、工夫しながら宿題などの家庭学習に取り組んでいる。」は、77.9%でした。本年度からの取組なので、今後子どもの様子を見ながら着実な積み上げをしていきたい。
- ◆保護者アンケート「5. 子どもは、学校や地域や家庭で、進んであいさつしている。」(昨年度69.1% →本年度74.4%)、児童アンケート「5. 家や地域や学校で、自分から進んであいさつしている。」(昨年度77.1% →本年度83.5%)と肯定的評価の割合が、保護者、児童ともに増加している。学校においては、生活委員会が『ほっとハートプロジェクト』の一環として11月にあいさつ運動を行い、児童主体による活動としてあいさつの輪を広げている。

- ◆児童アンケートの「2. 授業はよくわかる」は、91.1%(昨年度90.1%)でした。友だちとペアやグループで意見を交流する学び合い活動や授業のめあてを意識したり、学びを振り返ったりする活動を取り入れて授業改善を進めている。今後は、ICTの効果的な活用を研究することで子どもたちの学びを深めていきたい。
- ◆体力向上については、保護者アンケート「9. 子どもは、運動に親しみ、体をよく動かしている。」の項目で77.5%(昨年度71.9%)、児童アンケート「9. 体育の時間や休憩時間には、体をよく動かしたり、外で遊んだりしている。」の項目で77.2%(昨年度76.9%)という結果でした。本校では、体力向上を目指して、学年でリレー大会を開催したり、なわとびの大会(大津スパートライ・唐崎スパートライ)への取組を行っている。また、家庭学習一つとして「体育の宿題」を位置づけて、全校で体力向上に取り組んでいる。
- ◆保護者アンケートの「10. 学校は、いじめ等がない学級づくりに努めている」は、92.5%(昨年度90.8%)でした。ここ数年、高い割合を維持しています。各学校において、いじめ撲滅を目指し『いじめ防止基本方針』を作成している。本校においてもいじめの未然防止、早期発見、そして、起きてしまった時の対処等を記載して、全職員で徹底できるよう啓発を行っていきたい。